

～ 1854年 下田踏海 吉田松陰のうごき～

旧暦	新暦	泊地名	できごと（網かけ部分は下田でのできごと）
3月5日	4月2日	江戸 発	夜、赤羽橋で合流した金子重之助と発つ
6日	3日	保土ヶ谷	（横浜市保土ヶ谷区）8里半の夜道を歩き、明け方宿に着く
6日	3日	横浜村	投夷書を作成、佐久間象山を訪ね松代藩営中に泊まる、1里余
7日	4日	横浜村	大機盤溪に会う、酒樓に船頭を招き出船を画策するが失敗
8日	5日	保土ヶ谷	本牧の地形調査、永島三平に会う、投夷書を増補する、1里余
9日	6日	保土ヶ谷	浦賀同心吉村に会う、横浜村で船を探すが得られず
10日	7日	金川	（横浜市神奈川区）来原良蔵・赤川淡水ら来る、浜屋泊、1里半
11日	8日	金川	薪水積込みの船に便乗を画策するも果たさず
12日	9日	金川	乗り込み遅延のため、永島江戸へ帰る
13日	10日	保土ヶ谷	夷船を追い羽田へ行く、下田行きを象山に告げる。往復11里半
14日	11日	鎌倉	伯父竹院の瑞泉寺を訪ね一泊する、4里半
15日	12日	小田原	藤沢、平塚、大磯と進み、増水した酒匂川で体を濡らす、10里余
16日	13日	熱海	根府川関所で、熱海に湯治に行くこと伝える、入湯数次、7里
17日	14日	大河	東伊豆大川、伊東で昼食、下田を目指す夷船2隻を見る、10里
18日	15日	下田	旧岡方村（市内二丁目）岡村屋に泊まる、夷船2隻を見る、8里
19日	16日	下田	木村軍太郎らと情報交換、投夷書の手交を画策する
20日	17日	蓮台寺	皮膚治療のため蓮台寺温泉へ、医師村山家に泊まる、1里
21日	18日	下田	海岸へ出て夷船の動向を偵察、岡村屋泊
22日	19日	蓮台寺	ペリー旗艦以下6隻を見る、金子は下田に戻り偵察、村山家泊
23日	20日	下田	木村らと柿崎海岸から夷船を偵察、岡村屋泊
24日	21日	蓮台寺	ペリー一行の了仙寺訪問を見る、岡村屋宿泊を断る、村山家泊
25日	22日	柿崎村	下田に戻り偵察、船で夷船をめざすが失敗、柿崎弁天社で寝る
26日	23日	柿崎村	柿崎を離れ外浦海岸へ、坂上の茶屋で泊まる
27日	24日	柿崎海岸	投夷書を手渡す、弁天祠に隠れ、潮の満ちる夜を待つ
28日	25日	下田番所	午前2時、舟で夷船へ、ボートで送り返される、名宅に自首
29日以降	26日以降	長命寺	取り調べ後、現在の中央公民館のある長命寺の観音堂に預けられる
数日後	数日後	平滑獄	組頭黒川嘉兵衛による取り調べを受ける
4月8日	5月4日	平滑獄	江戸から身柄引き取りのため八丁堀同心2名、岡引5名が来る
11日	7日	湯ヶ島	下田発、下田街道を通り天城越え
12日	8日	三島	役人の松陰に対する態度は悪態なものであつたらしい
13日	9日	小田原	
14日	10日	保土ヶ谷	下田往還を利用した幕府役人の一般的な日程は4泊5日若しくは5泊6日
15日	11日	江戸	夜遅く江戸に入り、北町奉行の板年に収容（現在の東京駅八重洲口の辺り）

健脚吉田松陰

吉田松陰が生涯で歩いた距離は1万3千キロにもおよびそうです。

学者としてのイメージが強い松陰ですが、21歳の頃から下田で黒船に乗り込もうとし

「開国のカケラを集めて」

下田開港170周年記念事業

た25歳までのたった5年間で、青森から九州まで様々な地域を訪れています。

下田までの道のり

外国へ渡ろうとした松陰は、どのような道のりと時間をかけて、江戸から下田まで

たどりつき、どのくらい下田に滞在したのでしょうか。左表のとおり、下田で過ごしたのはおよそ半月ほどです。横浜で黒船乗船に失敗していること、当時の道で江戸から下田まで5日間あれば徒歩で往來できたこと、ペリーの了仙寺訪問を見ていたことも分かります。

表を眺め、生身の人間、吉田松陰に思いを馳せてみてはいかがでしょう。

企画課政策推進係（河内庁舎）  
問合せ先 22212

防災かわら版 ～各種補助制度のご案内～

問合せ先 防災安全課防災係（河内庁舎） ☎364145

家具等転倒防止促進事業費補助金

購入後の申請です。

購入後3か月以内に以下の3点を提出してください。

- ①交付申請書兼請求書（様式第1号）
- ②取付箇所の写真
- ③領収書の写し

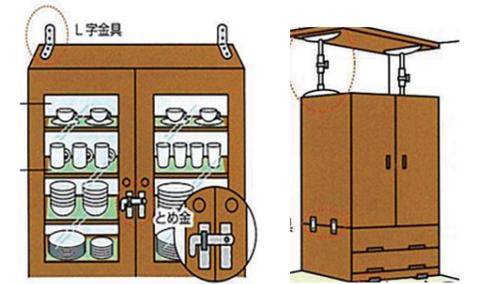
【対象となるもの】

L字金具、つっぱり棒、ベルト、食器棚等の留め金具等

【補助額】対象経費の2分の1以内

【上限額】・自ら取り付けた場合 → 10,000円  
・事業者による取付の場合 → 20,000円  
（購入費10,000円、取付費10,000円）

家具転倒防止設置例



感震ブレーカー整備費補助金

事前申請が必要

です。工事前に以下の3点を提出してください。

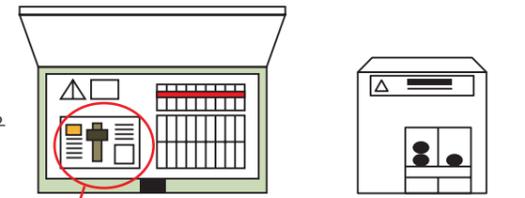
- ①交付申請書（様式第1号）
- ②設置箇所の写真（設置前）
- ③見積書の写し（注1）

交付決定通知書が届いたら、事業者へご依頼ください。

事業者へ支払い後、以下の3点を提出してください。

- ①設置箇所の写真（設置後）
- ②領収書の写し
- ③交付請求書（様式第6号）

【補助額】対象経費の3分の2以内（上限5万円）



分電盤タイプ（内蔵型） 分電盤タイプ（後付型）

家庭用ポータブル発電機等購入費補助金

事前申請が必要

です。購入前に以下の4点を提出してください。

- ①交付申請書（様式第1号）
- ②仕様が分かるカタログ等の写し
- ③運転免許証、住民票等の写し
- ④見積書の写し（注1）

交付決定通知書が届いたら、購入してください。

支払い後、以下の2点を提出してください。

- ①本人と発電機等が写っている写真
- ②領収書の写し

【補助額】対象経費の2分の1以内（上限4万円）



持ち運び可能な発電機と蓄電池が対象です。

交流100V出力端子を備えたもの

（注1）3万円以上の購入が見込まれる場合、2者以上の見積書が必要になります。

※家具等転倒防止促進事業費補助金、感震ブレーカー整備費補助金は住宅又は併用住宅一戸につき1回限り、家庭用ポータブル発電機等購入費補助金は1世帯につき1回限りの申請となります。

※予算に限りがあるため、申請をお考えの方は防災安全課まで一度お問合せください。

**生ごみを堆肥に！ 竹パウダーコンポスト講座**

市内の放置竹林から生まれた「竹パウダー」で生ごみを堆肥化すると素晴らしい資源になり、生ごみ削減につながります。そこで、竹パウダーコンポストを使ったモニターを募集します！コンポストとは堆肥を作る容器のことです。バック型のコンポストを使い、ちょっとしたスペースでできます。ご家庭で下田の豊かな自然を守る取組を始めてみませんか。

日時：5月23日（木）13時30分～15時  
場所：道の駅開国下田みなと 4階 会議室3  
対象：下田市民で簡単な記録をとれる方 先着30名  
参加費：無料（コンポスト容器・竹パウダー等、無料配布）  
その他：2か月に1回、記録の提出が必要です。その際に新しい竹パウダーを配布します。※約1年間取り組んでいただきます。

申込期間：5月13日（月）まで  
問合せ先：企画課政策推進係（河内庁舎） ☎22212  
協力：すぎのこ作業所 申込フォーム

**しもだ健康川柳**

幸せな家に響くよ笑い声（みいちゃん）

このお腹今までいくら課金した？（スタミナ太郎）

外よりも内で気遣う夫婦仲（チーさん）

私の子供の名前健と康（初波）

お互いにお世話になりますあの世まで（村山千里）